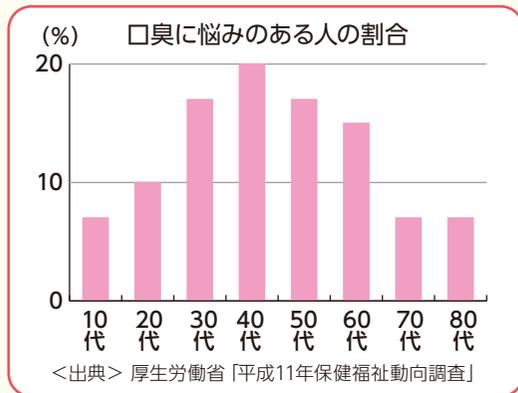


3 きれいな口元で事業所のイメージアップ

エチケット上、誰もが気になる「口臭」は、ほとんどの場合、歯周病によって引き起こされます。



時として、「口臭」は、相手に対し不健康なイメージを与え、職場間、事業所間の関係にデメリットをもたらしかねません。

現代の世の中は「見た目重視」の風潮が強くなってきています。貴社従業員の健康的なイメージは事業所のイメージアップへとつながります。

事業所での歯科健診の受診方法

歯科医師が事業所に出向いて健診する方法(事業所対応方式)と、歯科医院で直接受診する方法(医院対応方式)の2通りの方法があります。

事業所対応方式の利点

- 自分の職場で受診できます。
- 事業所の予定(日程等)にあわせて歯科健診を行えます。

医院対応方式の利点

- 勤務終了後など、自由な時間に健診へ行くことができます。
- 事業所や自宅近くの歯科医院、かかりつけの歯科医院などを選択できます。

労働安全衛生法では…

同法においては、「事業者は労働者の健康教育及び健康相談等の健康保持増進をはかるため、必要な措置を継続的かつ計画的に講ずるように努めること」と指定されています。その内容のひとつに口腔保健を含めた保健指導があり、健康測定に基づき健康的な生活への指導及び教育を職場生活を通して行うこととされています。

さらに、「塩酸、硝酸、硫酸、亜塩酸、フッ化水素、黄燐その他歯又はその支持組織に有害な物のガス、蒸気、又は粉じんを発散する場所における業務に常時従事する労働者に対して、その雇い入れの際、その業務への配置換えの際、及びその業務について後6ヶ月以内毎に歯科健診を行うこと」を、事業者に対して義務付けています。



歯科医師からあなたに ～成・壮年期の口腔ケア～

- 歯や歯ぐきの状態を自分で観察しましょう
- 歯科医院で定期的(3～6か月に一回程度)に歯石を取るなど、歯のクリーニングをしましょう
- 生活習慣を見直し、歯の健康を維持しましょう
- 口臭予防のために口のお口のケアをしましょう

歯科健診を受けるとともに「かかりつけ歯科医」を決めて定期健診も受けましょう!



問い合わせ先

公益社団法人 鹿児島県歯科医師会

〒892-0841 鹿児島県鹿児島市照国町13-15
TEL : 099-226-5291 FAX : 099-223-6079
<http://www.8020kda.jp/>

事業所 歯科健診

の
すすめ



働く皆さんの
お口の健康を
守るために



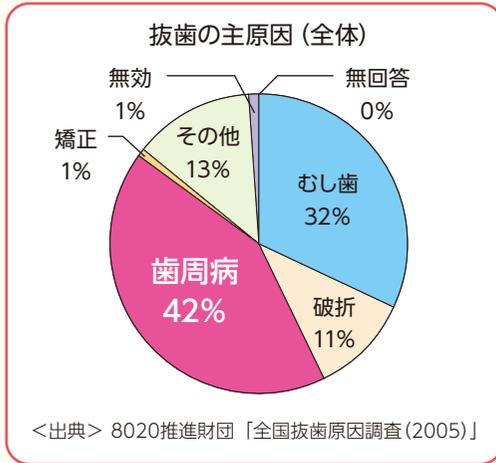
全身の健康には、口の中の健康が欠かせません。しかし、40歳以後の働き盛りの年齢から「歯周病」のため、急速にたくさんの歯を失っていく方々の割合が増加します。また、「歯周病」は糖尿病や心臓病などを悪化させることがわかっています。

事業所で働く皆さんの口の中の健康を守るために、鹿児島県歯科医師会では事業所歯科健診を推進しています。

公益社団法人 鹿児島県歯科医師会

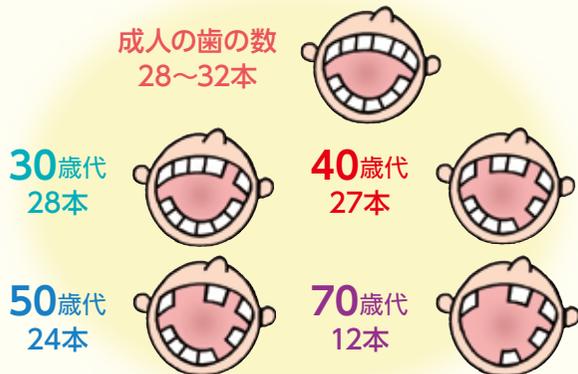
歯を失う原因

人が歯を失う2大疾患は、「歯周病(歯槽膿漏)」と「むし歯」で約8割を占め、そのなかで「歯周病」が原因のトップとなっています。



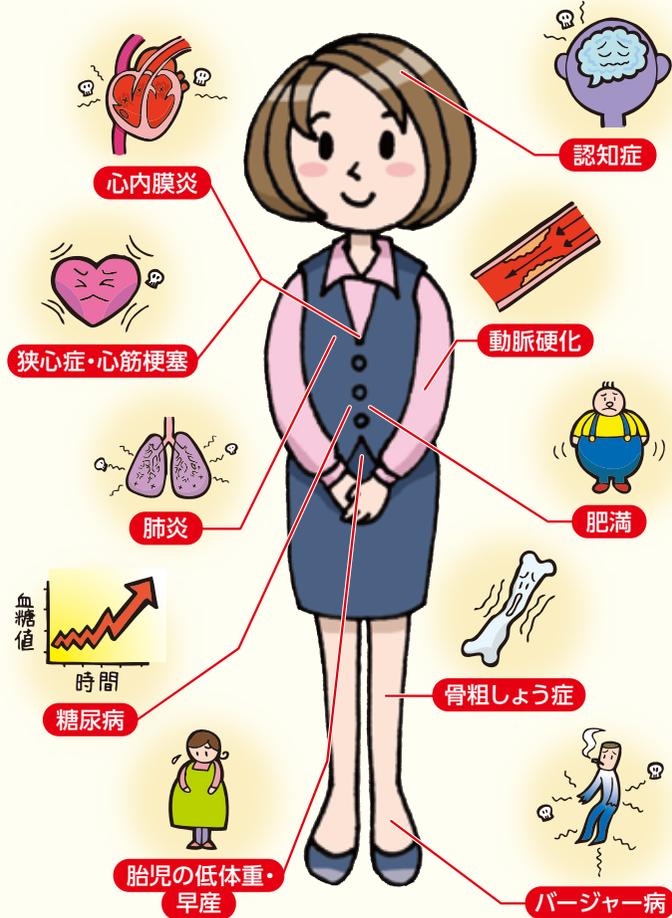
「働き盛り」年代から歯がなくなる!!

一人平均の現在歯数も、20歳で29本、30歳で28本、40歳で27本と10年ではほぼ1本ずつ減っていきます。50歳では24本、60歳で18本、70歳で12本となり、40歳代を境に急速に自分の歯が失われていくことがわかります。まさに「働き盛り」年代の皆さんは、歯周病が急速に増加している年代でもあるのです。



お口の健康と全身の健康

- **口は生命を保つための入り口です。**
 食べることは命を支えるうえで大切なことです。栄養をしっかり取り込み、おいしく食べるためには、「歯」と「口」の健康は欠かすことができないものです。
- **口は大切なコミュニケーション器官です。**
 人の口は、食べるだけでなく、話す器官でもあります。歯や口の周囲の筋肉は、発音に大きく関係しています。また、歯が抜けることで、顔の形や相手に与える印象が変わったり、日常生活にも支障をきたす可能性があります。
- **歯と口は全身の病気と深い関係があります。**

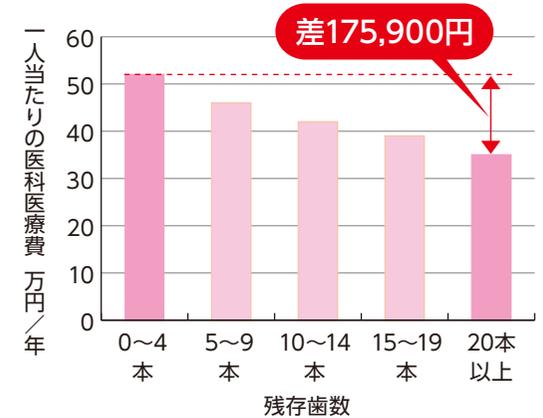


*ストレスや喫煙などは、歯周病の進行に影響します。

歯科健診を受けることによる事業所の利点

1 医療費の節減

残存歯数と医科医療費の関係 (40歳以上・約1万9千人対象)



<出典> 香川県歯科医師会
 「平成22年度香川県歯の健康と医療費に関する実態調査」

上のグラフのように、歯周病が進行している人など、口の中の健康状態が不良な人は、将来的に歯科以外も含めた医療費が多くなる傾向にあります。80歳になっても自分の歯を20本以上保つと、生活の質を向上させることが可能となり、結果的に医療費の増加を抑制します。

2 生産性の向上

むし歯や歯周病による急な痛みや治療で、予定外に仕事を休まなければならないことは、予想以上に多くあります。

そこで、定期的に歯科健診を受診することによって口腔内の疾患を未然に防ぐことは、事業所の生産性の向上にもつながり、結果的に事業所にとっても有益となります。